こんにちは！ 目黒区議会議員

金井ひろしです。

District Administration Report & Activity Report

区政・活動報告レポート

No.7 2021 新年号

ADDRESS 〒152-0032
東京都目黒区平町1-21-20-303
TEL：080-5195-2909
E-mail：kanai.hi64@gmail.com
Official Web Site：kanai-hi64.com

facebook　twitter　Official Web Site　金井ひろし E-mail

hi64 TALK コロナ禍時代の「手荒れ」から考える

「手洗いとアルコール消毒のために手が荒れ、指先にヒビ割れができて痛い」と友人が言う。「冬になって肌が乾燥するようになったからだ」と嘆く。

猛威をふるう新型コロナウイルスは、多くの人びとが犠牲になるだけではなく、思いがけない事態を発生させて社会を混乱させています。「手荒れ」まで引き起こしているとは ―― 。

いまだ正体不明の新型ウイルスは不気味さを増していますが、日常生活でも何を引き起こすのか、わからない怖さが重なってきました。

いまやコロナは私たちの生活すべてを脅かしています。気が気ではない自粛生活が続き、景気の変化や悪化による収入減、失業や貧困の問題、医療現場の逼迫、福祉現場の切迫、教育現場の混乱など、もはや社会全体にコロナ禍が蔓延しています。

保健や医療の現場で働く方々には感謝しかありませんが、しかし国や都、そして目黒区の行政が、さらに一人ひとりの生活に寄り添っていかなくてはなりません。

国や都の対策が「鳥の目」による大きな施策ならば、区議会議員は「虫の目」で日常生活的な細かな問題までチェックして、誰ひとり取り残さない施策を考えるのが仕事だと私は思います。

区民のみなさんの生活、医療や福祉、教育の現場で何が起きているのかを、小さなことから見逃さないように、できることから、少しづつ、ひとつづつ、改善していきたいと決意を新たにしています。

ご意見ご相談があれば、ぜひ私にお伝えください。

「区立保育園を今後も存続すべき」と青木区長が答える！

目黒区議会 本年度第四回定例本会議で「一般質問」に立ちました

昨年一一月の定例本会議で、六五分間の「一般質問」の機会を得ました。

一般質問とは、区政の現状や今後の見通しについて、議員が自由に具体的な質問や提案をすることです。青木英二区長や区役所の担当責任者が答えます。

議会での質問や提案は、区民のみなさんの声を、区長や区役所に問いかける重要な質疑応答の時間だと、私は考えています。

障害者の家賃補助制度

私の質問と提案は、おもに四つありました。

一つ目は「自立生活をいとなむ障害者への家賃補助制度を創設すべきだ」という提案です。グループホームに入居している障害者には家賃補助制度がありますが、多様なスタイルで自立生活をいとなむ障害者には家賃補助制度がないのです。

青木区長は「目黒区には家賃補助を必要としている区民への補助制度があり、自立生活をいとなむ障害者も当然のことながら利用できる」と回答。しかしこの制度は最長六年の限定的な補助にすぎません。私はいくつかの再質問を重ね、自立生活をいとなむ障害者への家賃補助制度を、障害者福祉課が所管し、現行制度とは別に制度化すべきだと提案しましたが、青木区長の回答は現状の制度で対応していくという姿勢を強調するばかりで、残念ながら問題意識の共有ができませんでした。

金井ひろし

アメリカ大統領選挙

昨年 11 月の選挙はバイデン氏の勝利で終わりました。トランプ氏は国民に優劣をつける手法で分断し対立させていると４年前から私は苦々しく思っていました。多くの候補たちが名乗りを上げ、支持者たちが集会とデモを繰り広げる大統領選挙のダイナミズムこそアメリカの民主主義ですね。またハリス氏が「見えないガラスを突き破って」初の女性副大統領になるのは素晴らしいニュースだと思いました。

大統領となるバイデン氏は「多様性のある政治」をおこなうと表明しています。分断と対立に反対する私も同じ意見です。

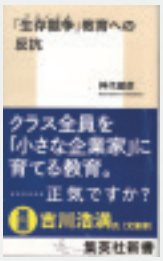
市民連合 めぐろ・せたがや

昨年 10 月 25 日は市民と野党が共闘する通称「めぐせた」主催の市民集会に参加しました。第 1 部は保育園の園長さんやコーヒーショップのオーナーさんなど市民のみなさんが「2019 年台風被害」から「コロナ禍の生活窮状」など市民生活の現状を話し、第 2 部は野党共闘の各政党の役員や議員が話す集会になりました。集会で市民が意見を表明し、そこから政治が動いていく。これが民主主義の基本です。

教育宿泊施設の視察

昨年10月に目黒区の区立小中学校の児童と生徒が自然環境の生活体験をする興津自然学園と八ヶ岳林間学園を視察しました。私が所属する「文教・子ども委員会」の区議全員による視察でした。長女がお世話になり次女もお世話になる施設ですので興味深く視察しました。「Go To トラベル」開始のタイミングで委員長の尽力によって実現した視察でした。

現代教育の本質がわかる



教育学者の筆者は「役割を過剰に期待された学校教育がゆがみ、疲弊し、息も絶え絶えになっている」と指摘し、この本を書いた。ブックタイトルにある「生存競争」には「サバイバル」とルビがふられている。難しい教育問題を、ユニークな考え方で、わかりやすく解説してくれる。面白い講義をうけているように読み進められ、自分の考えを整理できる本でした。

「生存競争」教育への反抗

神代健彦：著　集英社：刊　定価：860 円＋税
ISBN978-4-08-721129-0

誕生日会の料理番

昨年 11 月の週末に家庭で娘の誕生会をしました。料理担当になった私はスーパーへ行き、奮発してタイ一匹を衝動買いするなど食材を購入。タイをさばいてカルパッチョにし、海鮮パエリアも作りました。誕生会といえば骨付き鶏肉のチューリップ唐揚げが定番なので、これにもチャレンジしました。ところで、味の方は何の評価もされなかったのですが、きっと美味しすぎて言葉が出なかったのでしょう。

Web で 第９回わくわく子どもまつり

「笑顔で子育てができるまち目黒」をめざして、公立・私立保育園、保護者会、保育・子育て団体、労働組合などが広く手をつないで開催してきた毎年恒例「めぐろわくわく子どもまつり」。

2019年は2000人規模のまつりでしたが、コロナ禍の2020年は対人距離が確保できないので Web 開催とし、11月21日から30日にかけてネット配信しました。もちろん初めての試みでした。

毎週水曜日 朝

都立大学駅前で辻立ちをしております。区民のみなさんへ語りかけ、この『区政報告レポート』をお配りしています。朝のあわただしい時間ですが、どうぞお気軽にご意見ご要望をお声がけください。ただし、体調がわるい日や雨天・強風の日、関連する選挙期間中とスケジュールの調整がつかないときは休みます。ご了承くださるようお願い申し上げます。

1/31

金井ひろし区政報告会 & タウンミーティング 第７回開催

ZOOMによるオンライン参加もできます。ご意見ご要望をお伝えください。

日時：2021年1月31日（日曜日）午後２時から午後４時まで　参加費無料
場所：自由が丘住区センター第１第２会議室（東急線・自由が丘駅徒歩４分）
　　目黒区自由が丘 1-24-12　電話：03-3718-1195

※ ZOOM 参加をご希望の方はお手数ですが「金井ひろし QR コード」か「金井ひろしのＥメールアドレス」へお申し込みください。ZOOM ご招待の返信を差し上げます。
※ マスクの着用と手の水洗またはアルコール消毒をお願いします。ソーシャルディスタンスをとって窓を開け換気をいたします。

こんにちは！ 金井ひろしです。
区政•活動報告レポート No. 7 2021年 新年号（通巻第７号 / 第３巻第１号）
発行：2021年１月５日 編集発行人：金井ひろし 〒152-0032 東京都目黒区平町 1-21-20-303
TEL：080-5195-2909　E-mail：kanai.hi64@gmail.com

金井ひろしQRコード

第6回

区政報告会＆タウンミーティングを開催しました！

学生インターンたちの「未来国会」発表が新風を吹き込む

年度四回の区議会定例本会議が終了するたびに区政報告会を開催しています。区民のみなさんへ区政の状況を報告し、ご意見ご要望を聞かせていただくタウンミーティングです。ZOOMを活用したハイブリッドのミーティングを実施しています。

第六回となった昨年一一月一五日は特別プログラムとして学生インターンたちが「未来国会」の発表をしてくれました。

マスクと消毒をし、三密を避けた会場の自由が丘住区センターに集まってくださったのは一六人、そしてZOOM参加が五人。合計二一人のタウンミーティングになりました。

立憲民主党の同僚区議である西崎つばささんと橋本しょうへいさんも自主参加してくれました。司会進行はフリーアナウンサーの白沢みきさんです。

「かなえるカナイ後援会」の会長である宇田耕一さんの開会挨拶の後、金井ひろしが区議会第三回定例本会議と区政一般について報告しました。

区議会で使う難しい政治用語ではなく、わかりやすい平易な言葉での報告を心がけました。西崎つばささんと橋本しょうへいさんがヘルプしてくれました。

参加者のみなさんから積極的なご意見やご要望がありました。これらのご意見ご要望は区議会において質問する貴重な材料にさせていただきます。

そして、昨年八月から九月にかけて金井ひろしの議員活動を体験勉強した学生インターン三人による「未来国会」の発表です。

「未来国会」は毎年秋に全国規模で開催されている「若者のための国家デザインコンテスト」で、若者たちがチームをつくり政策提言をします。昨年は全国から一三三五名・五〇八チームが参加しました。

今回発表してくれた三人のチーム名は「チームマカロニ」。政策提言のタイトルは『「子育てをするなら北欧」とは言わせない！ー日本だって子育てに寛容な国だ！ー』でした。

子育てをテーマに選び、社会環境、保育、教育、地域社会、教育資金などを国際的な視点をもって調査研究した、力のある政策提言です。

「未来国会」では東京地区大会で優勝し、全国一三位にランキングされたという高い評価をえている政策提言です。

若者らしい理想をめざす政策提言でしたので、タウンミーティングに新風が吹き込み、充実した区政報告会になりました。

金井ひろしは若者たちの政治参加を積極的に応援するために、毎年夏と冬に学生インターンを受け入れています。どうぞ学生インターンたちをやさしく見守ってください。

二〇二一年新年の区政報告会＆タウンミーティングは一月三一日に開催します。日時・場所など詳細は四ページに掲載しております。どうぞお気軽にご参加くださるようお願い申し上げます。

◀ 宇田耕一さん（自由が丘在住）開会挨拶と区政への意見と注文を話してくれました

小野昭人さん（碑文谷在住）▶ 閉会挨拶と区政への意見と注文を話してくれました

「未来国会」に参加した３人の学生たちが政策提言を発表してくれました

区立保育園の存続

二つ目は「区立保育園を民営化する施策が進行しているが、すべてを民営化することなく公立（区立）保育園を存続すべきだ」という質問をしました。子育て世代なら知っていることですが、公立保育園は「子育て相談」や「緊急一時保育」など細やかな施設運営をしていて、地域の保育の質を維持向上させています。公立保育園は絶対的に必要な保育園です。

この質問に青木区長は、丁寧な説明をしたうえで「区立保育園は地域の保育施設の中心的な存在」だと位置づけ「今後も存続すべき」と回答しました。

この区長の回答を引き出せたことは「大きな成果だ」と、保育の現場で働く人たちや地域で保育についての活動をしている保護者のみなさんから評価していただきました。これは一歩前進です。

教育についての二つの質問

三つ目はインクルーシブ教育（障害のある子どもと障害のない子どもが共に学ぶ教育）のさらなる充実にむけて支援員の増員や、教育現場の校長会での理解を深める努力をしてほしいと質問しました。

そして四つ目は、コロナ禍における保護者への支援として昨年六月と七月に実施した目黒区の区立学校給食の無償化を、今後も引き続き実施する考えがないか、質問しました。

三つ目と四つ目の質問は、教育委員会の所轄事項とのことで、関根義孝教育長が回答しました。

インクルーシブ教育については「計画通り順調に推進しており、充実の方向にある」との回答でした。

学校給食の無償化については「コロナ禍状況の変化に対応して再度無償化時期をもうける考えはあるが、学校給食法にしたがって給食費は保護者の負担であることには変わりない」との回答でした。

どちらも現状を維持していく旨の回答でしたが、そのなかにも柔軟な姿勢が少々あったので、そこが今後の議論の突破口になればいいと思いました。

議会録画をご覧ください

私としては、区民みなさんの生活と教育や福祉の現場から上がる声を聞き漏らすことなく大切にして、このような一般質問を今後も継続していきたいと考えています。

また、この一般質問の録画は、目黒区役所の公式ホームページで、ご覧いただくことができます。

トップページの「行政ガイド・区議会」→「インターネット区議会中継」→「目黒区議会 議会中継（生中継・録画）」→「令和2年第4回定例会」→「11月20日 本会議」→「金井ひろし」です。

私のつたない議会質問ですが、言うべきことは言う姿勢で、全力で取り組んでいます。区民のみなさんの日常生活に起こる問題を取り上げていきたいと考えています。

議会中継の録画のQRコード

私が一般質問に立ったときの議会写真です。
緊張しながらも本質を問う質問を心がけています

私の一般質問に答える
青木英二区長

目黒区公式ホームページのインターネット議会中継の録画より

私の一般質問に答える
関根義孝教育長

目黒区公式ホームページのインターネット議会中継の録画より

一般質問中の金井ひろし

目黒区公式ホームページのインターネット議会中継の録画より

支え合うことを安心に。 目黒区議会議員 金井ひろし
strength in compassion of others and ensure security by supporting one another.
我们以多样性为荣，合力前进，互为股肱，安心宜居。
立憲民主党